

東京都立北特別支援学校 病弱教育部門

病院訪問学級案内



都立北特別支援学校 病院訪問学級

〒114-0033

東京都北区十条台1-1-1 東京都立北特別支援学校

電話：03-3906-2321 FAX 03-3909-4795

学校ホームページ <http://www.kita-sh.metro.tokyo.jp/>

北特別支援学校HP



病院訪問学級とは

◎病院訪問学級について

病院訪問学級とは、指定地域7区の病院に入院している児童・生徒が入院中も安心して学校教育を受けられるように設定された学級です。教職員が病院に出向き、ベッドサイドや学習室で個別授業及び自習支援を行います。感染症対策及び一時退院や体調等により、オンライン授業を行うこともあります。

◎指定地域7区について

足立区・荒川区・板橋区・北区・豊島区・文京区・練馬区の7区です。訪問実績のある病院は、順天堂大学医学部附属順天堂医院、帝京大学医学部附属病院、日本医科大学付属病院、東京科学大学病院、日本大学医学部附属板橋病院、東京女子医科大学附属足立医療センター、東京北医療センター、心身障害児総合医療センター、東京都立豊島病院、順天堂大学医学部附属練馬病院、成増厚生病院などです。

◎対象となる児童・生徒について

小学校、中学校、高等学校等に在籍している児童・生徒が対象です。上記の病院以外に入院している児童・生徒も対象となりますが、書類等の手続きや授業場所の確保のため、授業開始までに時間がかかることがあります。

◎学籍について

病院訪問学級転入に当たり、現在の在籍校から本校(都立北特別支援学校)への転入学・編入学手続きを行います。退院時には、本校から退院後に通う学校への転校・編入手続きを行います。

◎児童・生徒の学習時間及び学習回数について

教員または病弱教育支援員が病院を訪問して、教員が授業、病弱教育支援員が自習支援を行います。病弱教育支援員は、入院期間中の児童・生徒を支援し、退院後の学校生活にスムーズに戻れるようサポートします。授業は週3回(1回2時間程度)を標準として実施していますが、主治医の診断、児童・生徒の心身の状態や治療の進捗などを基に、1回の学習時間や週の学習回数を設定しています。時間割は毎週金曜日に配布します。

◎学習の進め方について

国語・算数(数学)・理科・社会・外国語の授業を中心に、個別の指導で児童・生徒の治療中の健康状態に配慮しながら取り組みます。学習の進捗や使用教科書等、入院前の学校と十分な引き継ぎを行い、円滑な復学を目指します。

◎年間の行事予定などについて

始業式、終業式、オンラインによる芸術鑑賞会、文化祭展示発表、期末考査(中学生・高校生)があります。タブレット端末を活用して、病院訪問学級の児童・生徒同士の交流も行います。

都立北特別支援学校の紹介

病弱教育部門

病院訪問学級

- ・場所: 指定地域の病院内の学習室やベッドサイド
- ・対象: 指定地域7区の病院に入院中の児童・生徒

東大こだま分教室

- ・場所: 東京大学医学部附属病院内分教室
- ・対象: 東京大学医学部附属病院に入院中の児童・生徒

肢体不自由教育部門

本校

通学

小学部
中学部
高等部

在宅訪問学級※

※学区内に在住の通学困難な児童・生徒対象

けやき分教室(現在休室中)
＜心身障害児総合医療療育センター
むらさき愛育園内分教室＞

時間割（例）

この時間割は、東京都が標準とする週3回授業に基づき表示しています。
実際の時間割は担当教員より提示いたします

小学生時間割

例〈小学1・2年〉



	月	火	水	木	金
10:00～ 11:30	こくご さんすう せいかつ		こくご さんすう せいかつ		
13:30 ～15:00		じしゅう しえん		こくご さんすう せいかつ	

例〈小学3～6年〉



	月	火	水	木	金
10:00～ 11:30	算数 社会		自習 支援		
13:30 ～15:00				算数 社会	国語 理科

中学生時間割

例〈中学1年〉



	月	火	水	木	金
10:00～ 11:40		英語			数学
13:30 ～15:10	社会			国語	

高校生時間割

例〈高校1年〉



	月	火	水	木	金
10:00～ 11:40		数学Ⅰ 数学A			物理基礎 生物基礎
13:30 ～15:10	現代の国語 言語文化			英語コミュニ ケーションⅠ 論理・表現Ⅰ	

病院訪問学級 Q&A

Q 現在通っている学校とは、今後どのように関わりますか

A 訪問学級担任が中心となり、入院中の様子、学習進度、進路などについて、通っている学校の担任と連絡を取り合います。また、退院前には、必要に応じて復学支援会議を開き、本人・保護者・病院・退院後に通う学校の教員・病院訪問学級担任間で、退院後に必要な情報を共有し、スムーズな復学を目指します。

Q 自習支援とはどのようなことをするのですか

A 病弱教育支援員による自習支援は、プリント等を使った教科学習の復習や創作活動等を行います。

Q 病院と学校はどのように連携を取りますか

A 授業前に、児童・生徒の体調確認をします。また、病院とのカンファレンス等で定期的に病棟スタッフに、授業の様子を伝えています。

Q 入院中の学習成績や出席日数は通っている学校に戻った時、考慮されますか

A 入院中の学習成績や出席日数は、考慮されることが多いですが、最終的には通っている学校が判断します。

Q 病院訪問学級入級等にかかる費用はありますか

A 小学生及び中学生は義務教育なのでかかりません。高校生は、1か月につき100円の授業料がかかりますが、都に申請書を提出し、手続することで無料になります。

Q 退院後も病院訪問学級の授業を受けられますか

A 病院訪問学級の授業は、入院中の児童・生徒を対象に行います。退院後の学習については、退院後に通う学校に御相談ください。

転入・転出について

転入(小・中学生)・編入(高校生)について

小学生・中学生

- ① 保護者が病棟スタッフに希望を伝えます。
- ② 医師が保護者からの聞き取りをもとに『病院訪問教育実施許可書』を作成し、病院訪問学級に提出します。保護者の方は、入院中に病院訪問学級の授業を受けることを、在籍校の担任にお伝えください。
- ③ 転入手続の面談日を設定します。転入時面談の時には、筆記用具をお持ちください。
- ④ 保護者、東京都特別支援教育推進室担当者、病院訪問学級担任で面談します。面談後、入院前に通っていた学校から本校へ学籍を移す転入手続を開始します。
- ⑤ 学校間で相談し、本校転入日が決定されます。
* 面談に、医師や病院ソーシャルワーカーなどの病院関係者が加わる場合があります。



主治医と相談の上、授業開始となります。

高校生

上記①②に加え、編入学の手続きを進めるにあたり、退院時の復学、単位認定、進級等について、現在通っている高等学校との相談が必要になります。(病院のソーシャルワーカーや病院訪問学級に御連絡いただき、訪問学級から説明を受け、その後、在籍している高等学校等へ御相談いただきます) 高等学校との確認が取れた後、編入学願書等の書類を整えて出願し、編入学相談(学力調査、面接)を行います。

転出(小・中学生)・転出(高校生)について

小学生・中学生

- ① 病院訪問学級担任が、保護者または医師や病院ソーシャルワーカーから退院予定日を伺います。
- ② 必要に応じて復学支援会議の日を設定します。病院訪問学級担任が、保護者、医師等病院スタッフ、転出先の担任等に連絡して、日程を調整します。
- ③ 本校から転出先の学校へ学籍を移す転出手続を行います。
- ④ 学校間で相談し、本校転出日が決定されます。

高校生

上記①～④に加え、高等学校により必要な手続きが異なるため、病院訪問学級担任に御相談ください。手続きは主に学校間で進めていきますが、保護者の方に御対応いただくこともあります。